

# 飲水思源

町長 松岡市郎

## 善は急げ 急がば根回し？

誰でも良いもの（善）は早く実行したい（急げ）と思うものである。個人の場合には好きなように行えば良いが、団体の場合には責任ある立場の人々と相談し「イエス」の返事をいただけなければ実行できない。不思議なことだが、良いと思われ

ることに反対する人が意外と多いものだ。逆に、これは特定の人にとって不利、マイナスになるからきつと反対の声が上がるだろうと、理論武装していたりするとすんなりと合意に至ることがある。人間の世界は何とも不思議なものだ。私たちの回りにも良くあることだろう。なぜだろうと自問自答することがあるが…。

ある人いわく『「善は急げ」と言うが「急がば回れ」だ』と。早く実行したい場合には、提案する前に1度ないし2度ほど事前に関係者に協議して了解を得ておくことが良いと俗に言う「根回し」である。ならば「急がば根回し」である。

プロ野球の世界でも投手は直球1本では最優秀選手（MVP）にはなれない。緩急のある球、直球と変化

球を持って、初めて超一流となっている。

私たちの町づくり計画は「プライムタウンづくり」、つまり「最高の町づくり」である。町づくりの世界でMVPを目指すなら、直球勝負ではなく、善（住民福祉の向上）なるものを「後回し」としないためには緩球が必要となって来るのだろうか。国政の世界では「急がば根回し」が頻繁であると聞く。「ねじれている」と言われるためか、なかなか結論が出ない。しかし地方自治は定めた目標を最短距離で実現する「善は急げ」である。善を「後回し」にしないためには、「急がば（根）回し」ではなく、関係者の適切な是非判断のため、情報伝達と公開をいかに適宜に行うかでなければならぬ。

さまざまな機会を通じて、最新の情報を伝えて行くことに心がけているが、多少の時間差のあることは寛容にいただきたいものである。また職員員の善なる提案に対して即座に「イエス」と言いたいものだ。

## 短歌

閉ざした冬の佛間の戸を引けば婿より送りきり心なむう  
亡き父によく似た人とすれ違ふ坂道の風追憶の中  
颯々もよほるとも人生と学びしとも思い違かに  
昨日は打てまうと天気隣は屋根の雪君とをり  
電話き思いがけず旭川の詩吟の仲間はずに懐かし  
贈るきももなご独り食むほろ苦き子ヨバレイナイデー  
あしたには鏡の中に紅をひく聖母に遠き女ごは  
福は内貧は払えといて来さずはなれすつきひており  
契て吾れに何が出来るか温暖化一人居の部屋重ね着する  
一年は昨日の如く思いつ何とほなしに過ぎるの世は  
難病と云われ久し此の先も病も疲れも友と生きむ  
古びゆく日々は殺し形身なる羽の羽織も着るままに

松倉 和子  
那須 喜美  
永江 栄子  
岩田 ふじえ  
岡澤 チズ子  
笹田 富士子  
嶋崎 ミエ  
宮坂 敬子  
中田 治子  
矢沢 ますえ  
清水 チヨ  
瓜生 昭枝  
尾池 真沙子

## 俳句

早春の瀬音小躍りして去りぬ  
室の花うすく紅ひく老婦かな  
春便り「引越しましたは突然に  
レシレ操る男の料理室の花  
早春や一問占めたる緋毛氈  
早春や身の丈にあふゆめひとつ  
少年のころ危しうすおひり  
降り頻る独りに重き春の雪  
早春やひとりの夜のいくら飯  
眉太き少年の声春きさす  
吹奏楽揃くタクトの春はしめ

徳光 吐苦  
杉山 りつ  
山口 佐知子  
石澤 清宏  
澤田 久美子  
松山 蓉子  
小林 露葉  
青野 公花  
宮坂 紫雲  
秋山 深雪  
杉山ひろのり

## 文化交流館 新刊図書・ビデオ 案内

貸し出し期間は、図書は1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間です。返却期間を守りましょう(夜間返却窓口もご利用ください)。



**アンフェア the movie**  
(映画・DVD)  
警部補・夏見は、警察内部の不正が書かれた極秘文書を追っていた。ある日、警察病院がテロリストに占拠された！要求は、「警察庁が不正流用した80億円を2時間以内に用意せよ」というもの。裏金の存在を明らかにしたくない警察対、テロリストのリーダーの機密に仕組まれた頭脳戦が始まる。(112分)



**つんつくせん といくまのゆめ** (絵本)  
作:たかどの ほうこ/刊:フレーベル館  
「つんつくせん」のみんなで、きょうはたのしいそりあそび。そしてどこかに「どっしーん！」そこは「つんくまえん」のくまさんがとうみんしているところでした。みんなとくまさんたちは、いっしょにおやつをたべること。ゆめのなかのできごと？それとも…。



**農業ブランドはこうして創る** (一般書)  
著:後久博/刊:ぎょうせい  
H19年6月に施行された地域資源を活用した中小企業の新事業創出支援を目的とする「中小企業地域資源活用促進法」。同法により期待される地域資源の中でも「農業ブランド」に焦点を当て、売れる商品づくりの仕掛け・仕組みを構築するためのマーケティングの実践書。成功の背景には必ずしあった戦略と感動の物語があふ